

受付 日		受付 番号	
---------	--	----------	--

助 成 金 申 込 書

提出日 年 月 日

法人・団体名 _____

申込者 代表者名 _____ (年 月 日生)

自宅住所・tel _____

下記のとおり貴公益信託の助成金を申し込みます。
 なお、この申込書に記載する事項は、助成金の支給対象の選考等、貴公益信託の運営に必要な範囲で、貴公益信託の受託者・運営委員・信託管理人が取得・利用すること、また、支給が決定した場合は氏名・所属団体等の情報が主務官庁へ提供される他、一般に公開されることについて同意のうえ応募します。
 私（法人の場合は、当該法人の役員等を含みます。）は、後段に記載の「反社会的勢力ではないことの表明・確約に関する同意」に記載の内容を了承します。

施設・団体の概要	施設・団体の名称			
	所在地	〒	—	TEL
	代表者			
	認可年月日(西暦)	年 月 日	介護保険認定 事業の種類	
	連絡責任者	氏名	所属・役職	TEL
	申請者の活動概要 【資料(団体の会則・定款は必ず)を添付してください】	(1) 日頃の活動についてご紹介ください。 (2) 今回の申請事業のほかに、過去にどのような活動をされていたかご紹介ください。		
助成を希望する内容	助成の種類 (○で囲む)	1. 老人の介護等のボランティアの活動 2. 老人の在宅福祉の向上を図る事業 3. 老人福祉施設における先駆的な事業 4. その他		
	事業内容及び使途、設備、備品等（複数の申込の場合は、優先順位を付してください）			
	計画と理由(書き切れない場合は次頁に記入してください)			
	資金計画（予算）	<申請物件の見積書・カタログ・資料等を添付してください>		
事業費又は費用総額 (A)+(B)+(C)	千円	助成希望額(A)	千円	
		自己負担額(B)	千円	
	千円	その他(C)	千円	
上記と同じ助成を、他の団体にも出されていますか。				
ある	ない	(申込先)	助成額	年 月)
過去3年間、施設又は団体で民間団体からこのような助成を受けたことがありますか。				
ある	ない	(団体名)	助成額	年 月)

《銀行使用欄》

精 査 印		登 録 印	
-------------	--	-------------	--

芝 96 号

「助成を希望する内容」欄の「計画と理由」等について前頁で書き切れない場合は、この欄にご記入ください。

助成決定となった場合の助成金振込口座

《注意①》口座情報に間違いがあると、助成金の振込が大幅に遅れることがあります。

《注意②》ゆうちょ銀行をご指定の場合、支店名欄には振込用の店名（3桁の漢数字）、口座番号欄には7桁の振込口座番号をご記入ください。

お振込先								(○をおつけください)								農協 信組 信金 銀行	支店 出張所 営業部		
	(○をおつけください) 普通		口座番号																
預金種別	その他 ()																		
	<p style="text-align: center;">●フリガナは、1つのマスに一文字ずつご記入してください。●カタカナ左づめでご記入ください。</p>																		
お受取人																			
													<p style="text-align: center;">【ご留意事項】</p> <p>助成金受取口座が法人名の場合、法人名その他、代表者の肩書や代表者名までの記載が必要です。その場合、洩れなく正確にご記入ください。 不明な場合は、口座を開設した金融機関にご確認ください。</p>						
フリガナ																			
口座名義																			

反社会的勢力ではないことの表明・確約に関する同意

私（法人の場合は、当該法人の役員等を含みます。）は、次の①の各号に掲げる者もしくは②の各号のいずれかに該当し、もしくは③の各号のいずれかに該当する行為をし、または①もしくは②にもとづく表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合には、通知により貴公益信託からの助成金・奨学金等の交付が廃止されても異議を申し立てず、既に貴公益信託から受給した助成金・奨学金等の全額を直ちに貴公益信託に返還いたします。また、これにより手数料、費用、損害が生じた場合でも、いっさい私の責任といたします。

- ①現在、次の各号に掲げる者（以下これらを「暴力団員等」という。）のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約いたします。
- A. 暴力団
 - B. 暴力団員
 - C. 暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者
 - D. 暴力団準構成員
 - E. 暴力団関係企業
 - F. 総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等
 - G. その他前各号に準ずる者
- ②現在、次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約いたします。
- A. 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること
 - B. 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
 - C. 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること
 - D. 暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
 - E. 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること
- ③自らまたは第三者を利用して次の各号に該当する行為を行わないことを確約いたします。
- A. 暴力的な要求行為
 - B. 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - C. 取引に関して、脅迫的な行為をし、または暴力を用いる行為
 - D. 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて貴公益信託の信用を毀損し、または貴公益信託の業務を妨害する行為
 - E. その他前各号に準ずる行為